

促成イチゴ品種の特性

「さがほのか」栽培基準より肥料と水を多くして栽培したときの各品種の品種特性

背景・目的

- 2020年度の試験で、県や国が育成した6品種を宮崎農試方式高設栽培で県内主要品種「さがほのか」の栽培方法で栽培したときの各品種の特性を「さがほのか」と比較して整理しました。その結果から肥料や水が足りなかったことが推察されたため、「さがほのか」の栽培方法よりも肥料や水を多くしたときの各品種の特性を「さがほのか」と比較して整理します。

成果の内容

- 排水率30%、排水EC0.5mS/cmを目標に管理した結果、給液量は栽培指針の基準よりも約1.5倍多く、給液ECは約2倍高くなりました（表1）。
- 「さがほのか」と比較し、5段階評価で、各品種の特性を示しました（表2）。

	給液量 (ml/日・株)		給液EC (mS/cm)	
	基準※1	R3実績※2	基準※1	R3実績※3
10月	250	403.6	0.3	0.498
11月	200	275.7	0.5	0.809
12月	150	241.1	0.3	0.644
1月	150	227.2	0.3	0.466
2月	200	265.1	0.3	0.615
3月	250	343.0	0.3	0.625
4月	300	406.1	0.3	0.643
5月	300	424.7	0.3	0.649
全期間平均	225	323.3	0.325	0.619

※1 基準は栽培指針を基に作成 ※2 R3実績給液量は、毎日調査の月平均 ※3 R3実績給液ECは、週1調査の月平均

(表1)：給液データ

品種名	収量			生育		花成		品質		
	可販果	花数	肥大性	草勢	早生性	連続出蓄性	糖度	酸度	硬度	A品率
こいはるか	+	++	±	++	±	±	±	+	±	--
やよいひめ	-	--	+	+	--	--	±	±	+	--
あまおとめ	±	+	±	++	+	-	+	++	±	±
佐賀9号	±	+	±	±	-	-	±	±	±	-
かおり野	++	++	±	++	+	±	±	±	±	--
恋みのり	±	--	++	++	--	±	±	-	++	+

※ 「さがほのか」と比較し、++、+、±、-、--の5段階で評価。
 ※ 可販果は可販果収量を、花数は総花数を、肥大性は可販果一果重を基に評価した（対照より2割以上：++、対照より2割未満1割以上：+、対照より1割以上2割未満：±、対照より2割以上：--）。
 ※ 草勢は、栽培期間全体の草丈の平均値を基に評価した（対照より2割以上高い：++、対照より2割未満1割以上高い：+、対照より1割未満高く1割未満低い：±、対照より1割以上2割未満低い：-、対照より2割以上低い：--）。
 ※ 早生性は頂花房の出蕾日を、連続出蓄性は頂花房から第4破花房までの各花房間の出蕾日数の平均値を基に評価した（対照より10日以上：++、対照より10日未満5日以上：+、対照より5日以上10日未満：±、対照より10日未満：--）。
 ※ 糖度、酸度、硬度は、栽培期間全体の平均値を基に評価した（対照より2割以上高い：++、対照より2割未満1割以上高い：+、対照より1割未満高く1割未満低い：±、対照より1割以上2割未満低い：-、対照より2割以上低い：--）。
 ※ A品率は、（対照より10%以上高い：++、対照より10%未満5%以上高い：+、対照より5%未満高く5%未満低い：±、対照より5%以上10%未満低い：-、対照より10%以上低い：--）で評価した。

(表2)：品種特性表（「さがほのか」との比較）

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 新規系統育成及び代替品種選定の参考データとして、活用できます。
- 普及対象地域・面積 県内産地全域（施設57.2ha）

留意点

- 定植が2021年9月22日で、杉皮バーク100%を充填した宮崎農試方式高設栽培で株間25cm、条間25cmの2条植えで栽培しました。
- 基肥はエコロングトータル391：40タイプを3.8g/株施用し、追肥はOK-F-1をかん水同時施用し、排水EC（目標：排水EC0.5mS/cm）を見ながら調整しました。かん水は、5cmピッチ点滴チューブを用い、排水量（目標：排水率30%）を見ながら調整しました。
- 電照は、11月24日から日没後1時間、12月6日から日没後1時間30分、1月28日から18時から20時の2時間、3月3日から3月13日まで18時から19時の1時間処理しました。
- ランナーは除去し、頂花房から摘果を実施し、1花房あたり最大15果としました。